

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

中学年

- ・個に応じた運動能力を、個別指導を充実させ支援したことで、技能を高めることができた。
- ・少人数の環境で、一人一人がまんべんなく運動に取り組むことができた。
- ・異学年と授業を実施し、少人数でもチームスポーツの授業を行うことができた。
- ・個に応じて泳力別練習を行った結果、すべての児童が自分の目標を達成することができ、水泳に対しての恐怖心と苦手意識がなくなった。

高学年

- ・個に応じた運動能力を、個別指導を充実させ支援したことで、技能を高めることができた。
- ・少人数のゲーム活動を通して、チーム内での自分の役割や、得意なことを見つけ取り組むことができた。
- ・異学年と授業を実施し、少人数でもチームスポーツの授業を行うことができた。
- ・個に応じて泳力別練習を行った結果、すべての児童が自分の目標を達成することができ、水泳に対しての恐怖心と苦手意識がなくなった。

(2) 課題

中学年

- ・体の使い方がわからず、できない運動や慣れない運動に対して消極的になる。
- ・人数が少ないため、ゲームの指導が難しい。

高学年

- ・苦手意識のある種目に対して、児童の実態に合わせて目標を設定し「できた」を感じられるようにしたい。
- ・自ら準備運動したり、必要な運動をしたりして自分の運動能力を高めようとする自主性を養っていききたい。
- ・運動に対して苦手意識をもっており、集団の中でも動けない場合がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分の体についての知識を高めさせていく。本校で行っている自立活動と関連付け、健康な体を維持するためにはどのようなことが大事か具体的に示していく。 ・運動経験の不足から、巧緻性や持久力に乏しい児童も多いので、「できる/できない」ではなく、「できるようになるために」の声掛けの指導を心がけていく。	・児童の実態に合わせたルールを児童に考えさせ、勝敗だけではなくどうしたらよりよい動きができるかを自分たちで考えさせる。	・短縄跳びや水泳、持久走などの個人で取り組む運動について、目標を設定させることで意欲的に取り組ませる。 ・自立活動などの記録も含めて体力がついたことを実感させていく言葉がけを大事にしたい。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自立活動と並行して、自分の体への意識を高めていく。 ・技や技能のポイントを具体的に提示する。タブレットを活用し、映像で自分の動きを確認させ、技や技能のポイントをつかませるようにする。	・運動種目はゲーム的な要素が多くルールや作戦なども自分たちで作っていく活動を取り入れる。	・できる運動からはじめて、スモールステップで良さを認めて、伸びを実感させていく。 ・自立活動や、体力テストの一部の種目を再度実施するなどして、自分の体力や動きが成長したことを実感させていく指導を行っていく。